

女子栄養大学出版部の本

書籍の編集担当から
新刊のご紹介です！

新刊

50年の食生態学研究から未来へ
『共食と孤食』

足立己幸／編 足立己幸・衛藤久美／著
A5判／312頁／定価2750円(税込)



誰ひとり取り残さない
食の未来を考える！

突然ですが、「共食」というのを思い浮かべますか。「誰かといっしょに食べること」だけでいいでしょうか？ また、あなたがひとりで食べる時、それは本当に「孤食」なのでしょうか？

編著者の女子栄養大学名誉教授の足立己幸さんは、食生態学という学問を創設し、約50年にわたり「共食・孤食」の研究と実践を行なってきました。本書の企画は4年前、世の中で「共食」が注目されるなか、狭い認識や回数でとらえられることへの危惧から、改めてその本質を伝えたいと願ったことから始まりました。

「共食」はもつと広く深く
自由度が高いものである

本書では、50年の研究と実践、さらに自身の85年の共食・孤食史にも分け入って思索するとともに、女子栄養大学准教授の衛藤久美さんによる、最新の国内外の研究の総括も加わり、重層かつ多角的な構造で、「共食」の広さ、ひだ深さ、

その力を明らかにしていきます。その過程で、「共食・孤食」は決して対立するものではないことも浮き彫りになってきます。

食の未来を考える思考マップ
「共食の地球地図」の提案

さらに、執筆のさなかに、コロナパンデミックが発生しました。世界中の人々の「共食」観が揺さぶられるなか、足立さんと今後の打ち合わせをしたときに「これは世界規模の共食とも言えるのかもしれないですね」と語られ、ハッとしたのを今でも強く覚えています。

足立さんが一貫して考えてきたのは、誰ひとり取り残さない、食の未来でした。本書では、仲間と食の未来を考えるたき台にしてほしいと願って生み出した、地球規模で共食を考える思考マップ、「共食の地球地図」を提案していきます。これは、食を担う人々に向けた著者の渾身のバトンであると、必死に並走してきた私は感じています。

(担当)

ホームページで
チェック！

女子栄養大学出版部の本 刊行情報 <https://eiyo21.com/book/>



お問い合わせ ☎03-3918-5411 (販売) ☎03-3918-5301 (編集)